「ひらかた」を27議員が

12月定例月議会では、12月15日・16日・17日・20日の4日間にわたって一般質問が行われ、27人の議員が本市の抱える諸課題について、市の考えをただしました。質問の内容については、各議員が項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。

就学援助 修学旅行費の負担前倒し支給で軽減を

日本共産党議員団　広瀬 ひとみ

質問　就学援助において、入学準備金は早期支給ができるよう、この間、改善された。修学旅行費も同様に、納入期限に間に合うよう前倒しの支給や現物給付に改善することにより、保護者の負担を軽減できないのか。

答弁　修学旅行費の事前払いについては、当該年度の就学援助対象者が確定する前に修学旅行等の宿泊学習が実施されることもあり、課題がある。

グラー ンア ケア 支援策などの構築を

質問　ヤングケアラー[※7]支援では、まず実態調査と認知度向上の取組、そして相談窓口の設置や家事援助等の具体的支援策の構築を進めるべきと考えるが、取組と見解を聞く。

答弁　ヤングケアラーと自覚していないなど支援につながっていない子どもや家庭へのアプローチ、認知度向上がさらに必要であり、全市的な調査や窓口の明確化、調査等での実態把握に基づいた支援策の構築が必要であると考える。

マイナンバーカード 普及促進の取組を

公明党議員団　田中 優子

質問　マイナンバーカードの普及促進のため、出張申請受付を要望してきたが、実施状況を聞く。

なお、新マイナポイント制度を多くの市民が利用できるよう、正確な情報の周知やポイント付与手続への支援を要望する。

答弁　11月に中央図書館で54件、12月に南部生涯学習市民センターで62件の申請受付をした。11月には時間的制約から受付できなかった人に、18件の申請書を送付した。

医療的ケア児の対応 看護師確保の取組を

質問　医療的ケア児とその家族が安心して日常生活を送れるよう、保育所や学校園の看護師の処遇を早急に改善し、人材確保に向け取り組むべきと考えるが、見解を聞く。

答弁　看護師の確保については課題と認識しており、特に学校看護師は、人材確保の観点から、来年度には一定の処遇改善を行う準備を進めている。引き続き、国の処遇改善の動向にも注視しながら検討を行う。

市のスポーツ資源 政策の中心に据え 枚方ブランドの最大化を

連合市民の会　番匠 映仁

質問　本市には、地元スポーツチームなど、全国でも有数の貴重なスポーツ資源がある。その資源と、健康等とを組み合わせることで、可能性は無限大と考える。スポーツを政策の中心に据えることで、市のブランド価値が最大限に高まり、選ばれるまちになると考えるが、市長の見解を聞く。

答弁　本市の特徴でもあるスポーツ資源を、様々な分野で活用し、まちの活性化を図っていく。

不登校児童・生徒の学びの新たな選択肢を

質問　不登校児童・生徒を対象に、専門員を配置し、個別にオンライン教室を実施している自治体もあるが、本市での対応等を聞く。

なお、ICTを活用した不登校児童・生徒の学びの新たな選択肢の構築を要望する。

答弁　学校から授業をオンラインで配信するほか、適応指導教室ルポでは、オンラインで朝の会や始業式等へ参加できるよう対応している。

無形文化財等の保存と活用に向け計画を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　泉 大介

質問　無形文化財等は、有形のものよりも保存や次世代への継承が難しい。文化財保存活用地域計画[※8]を策定し、市内の様々な文化財の保存、活用を進めるべきではないか。

なお、文化財保存の取組を通じた文化継承や地域のつながりを支援し、観光をはじめ地域資源として育てるよう要望する。

答弁　同計画により文化財の保存、活用を図る仕組みを構築できると考えており、検討を進める。

市職員団体発行の機関紙 公職選挙法への抵触は

質問　本市職員団体が選挙期間中に発行した機関紙に、団体が推薦する候補者の情報や投票依頼が掲載されていた。団体が事務所として市の行政財産を使用する際の条件にそぐわないとし、市は厳重注意しているが、公職選挙法に抵触しないのか。

答弁　最終的には司法により判断されるものと認識しているが、市民の財産である行政財産の適正使用の観点から、適切かつ厳正に対応していく。

新型コロナ対策 ワクチン・検査パッケージ導入効果と対応は

公明党議員団　上野 尚子

質問　新型コロナ感染症の第6波への対策として、感染者等が基本情報をオンライン入力できるLoGoフォーム[※9]の導入は、迅速な対応につながるすばらしい取組である。

今後の感染対策と日常生活の回復の両立に向けて国が示す、ワクチン・検査パッケージの導入効果と対応について聞く。

答弁　再度、感染拡大した場合でも、行動制限の緩和により、社会経済活動の継続が期待できると認識している。今後、国等から示される内容を精査し、対応を検討する。

型 合 総 放課後事業 ICTを活用した入退室の安全管理を

質問　5年度から実施する総合型[※10]放課後事業では、入退室を知らせるメール等で保護者が子どもの無事を確認できるなど、ICTを活用した安全管理を行うことはできるのか。

答弁　同事業の実施に当たっては、子どもの安全を確保しながら管理運営を行う必要があり、今後、ICTの活用についても検討していきたい。

土砂災害特別警戒区域等 安全対策への対応は

連合市民の会　西田 政充

質問　住民の不安解消に向け、土砂災害特別警戒区域等において土砂崩れ自体の発生を防ぐ根本的な安全対策が必要である。危険な鉄道のり面を所有するJR西日本に対する、市の対応を聞く。

答弁　同区域の状況によっては、通常の基準より早い段階で避難情報を発令する必要性もあるため、過去に崩れが生じた区域や周辺については、関係部局と連携しながら適切な管理を要望していく。

杉中・中宮中グラウンド 水はけの抜本的改善を

質問　杉中学校、中宮中学校のグラウンドは、一旦強い雨が降ると何日も水が引かず、体育の授業やクラブ活動に支障を来している。子どもらの教育環境の充実、公平性の観点から当然あるべき姿にするための抜本的な改善が必要と考えるが、改良内容と費用を聞く。

答弁　各校の条件によるが、例えばグラウンドの表土の全面的な改良を行う場合、1校当たり数千万円かかる場合がある。

王仁公園 スケートボードパーク設置への取組状況は

大阪維新の会 枚方市議会議員団　岡市 栄次郎

質問　王仁公園の再整備に当たり、提案してきたスケートボードパーク設置に係る取組状況を聞く。

なお、公園の在り方検討では、新たな財源確保について検討し、小規模公園が地域に身近な共有財産として、再生、活性化されるよう要望する。

答弁　再整備に係る現時点の調査の中で、同パークの参入意向を示す事業者はなかったが、引き続き、若者に人気のある新たな施設の調査、検討を行う。

広報ひらかたと選挙八報 確実な配布への取組を

質問　広報ひらかたの配布漏れがあった場合の本市の対応について聞く。

なお、配布漏れがないよう、配布事業者への指導の徹底を要望する。

答弁　配布漏れ等の問合せがあれば、住所と名前を聞き取り、当日または翌日に再配達している。

市道中振新香里線 安全確保への取組は

公明党議員団　山口 勤

質問　光善寺駅から香里団地までを結ぶ市道中振新香里線は、歩道幅員が十分に確保されていないなど課題が多く、安全対策を強く要望してきた。安全確保へのこれまでの取組と今後の予定を聞く。

答弁　植樹帯の撤去による歩道拡幅や、転落防止柵等の安全施設の設置などに取り組んできた。今後も、水路敷等の公共用地を活用した歩行空間の確保等、現道内での安全対策をさらに検討していく。

高齢者等の外出支援 デマンド交通の取組を

質問　高齢者等の交通手段を確保するための有効な外出支援策として、乗合タクシー等のデマンド交通[※11]など、持続可能な地域交通の実現に向け、しっかりと取り組むべきと考えるが、見解を聞く。

答弁　デマンド交通については、事業費の確保や利用者の伸び悩み、公共交通の維持等の課題を確認している。今後も引き続き、地域に合った交通施策について他市事例も含め、調査、研究していく。

マイナンバーカード 普及促進に向け公民連携の取組を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　鍛治谷 知宏

質問　マイナンバーカードの普及促進に向け、民間事業者や郵便局等と連携することで、スムーズな申請や窓口の混雑緩和等、市民の利便性向上につながると考えるが、今後の公民連携の取組を聞く。

答弁　同カードに内蔵される電子証明書の5年ごとの更新事務が郵便局へ委託可能となり、今後の事務量も見極めた上で対応を検討する。引き続き、民間企業や関係機関等との連携を図り、同カードの普及促進に取り組む。

子ども読書活動の推進に 学校司書の配置を

質問　小・中学校における学校司書の役割を聞く。また、3年度から小学校12校にも配置したというが、その成果を聞く。

なお、学校司書の配置は読書活動の推進に一定の効果があるため、全小学校への配置を要望する。

答弁　授業での図書資料の活用支援や学校図書館環境の整備等を担当している。司書配置小学校では貸出冊数が増加しており、効果が現れている。

冊子「枚方市の財政事情」 掲載項目を追加し財政状況を分かりやすく

公明党議員団　大地 正広

質問　冊子「枚方市の財政事情」では、市債残高等の今後の推移や現在の決算状況が分かりにくい。健全化判断比率等の指標や数値の経年比較、今後の対応策といった項目を追加するなど、見せ方を工夫すれば、市民により分かりやすく財政状況を伝えられるのではないか。

答弁　同冊子などにおいて、基金や市債残高、財政状況を表す指標を基にした経年比較、目指すべき方向性などを示すことについて検討を進める。

自治会への参加機会増で 役員の担い手確保を

質問　楽しく活動できるきっかけがあれば自治会への関わりが増え、役員の担い手確保につながると考える。校区コミュニティー[※12]単位の取組もあるが、身近な自治会単位の取組で幅広い世代の参加機会を増やし、無関心を解消していくべきではないか。

答弁　枚方市コミュニティ連絡協議会での検討会において、提案内容も考慮しながら担い手不足解消に向け議論を進める。

全員無償給食に向け段階的な実施の検討を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　門川 紘幸

質問　中学校の全員給食は市長公約に掲げられているが、さらに給食の全員無償化も議論すべきと考える。そこで、府内の無償化の状況を聞く。

なお、教育の一環でもある学校給食の無償化はフラットな教育環境につながるものであり、段階的実施の検討を要望する。

答弁　無償化は経費が大きく、完全実施は府内で1町のみだが、コロナ対策で臨時に実施した自治体は本市含め複数ある。

神路 名道 高速 沿道住民に配慮した取組の推進を

質問　建設中の新名神高速道路について、地域から高架下を有効活用したいとの声があるが、市としてどう取り組むのか。

なお、整備に当たり、沿道住民の生活環境に配慮し、恩恵が享受できるよう、関係機関と連携した取組の推進を要望する。

答弁　地域の活性化やにぎわい創出等の観点から有効活用は望ましいと考え、現在、地元自治会と本市、ネクスコ西日本で協議、調整を行っている。

東部地域の活性化へ 積極的な取組を

自由民主党枚方創政会　長友 克由

質問　東部地域の活性化に向け、市街化調整[※12]区域での規制緩和も検討するとしている点は評価するが、実現への流れを聞く。

なお、同地域は関西外大穂谷学舎の移転に伴うバス路線の縮小や空き家の増加等、様々な課題があり、積極的な取組を要望する。

答弁　地域や事業者からの提案に対し、規制緩和の視点から、活性化につながる取組かどうかの検討や、課題の洗い出し等、必要な対応を行っていく。

支援教室を整備し 良好な教育環境を

質問　教室をパーティションで半分に分け支援教室として使用する学校があるが、仕切りの上部が空いており、声や音が筒抜けで空調も効きづらい。1教室分の確保か、半分でも十分な設備を設置するなど、良好な教育環境を整備すべきではないか。

答弁　支援学級は上限8名の編制で、普通教室の半分の広さで使用する学校もある。今後は学校と改善策を協議しながら、必要な対策を講じていく。

廃寺院観音寺鐘楼・梵鐘 観光資源として活用を

自由民主党枚方創政会　前田 富枝

質問　観光資源として生かせていない文化財の一つに廃寺院観音寺鐘楼と梵鐘[※13]がある。地元からは、空き地となる予定の隣地を活用し、歴史を感じられる公園への整備を求める声がある。文化財を適切に保存し活用を図ることで観光の活性化につながると考えるが、見解を聞く。

答弁　当文化財については、地元の意見を聞くとともに、観光資源としてのニーズを踏まえ、その活用を検討していきたい。

温水洗浄便座等 公共トイレ 使う人の立場で整備を

質問　市役所本館等と学校のトイレの温水洗浄便座の設置状況を聞く。

なお、使う人の立場で、今何が必要なのかを考え、便座除菌クリーナーの設置も含め未整備施設の整備を進めるよう要望する。

答弁　市役所本館等7施設中、3施設の洋式トイレと6施設のバリアフリートイレに設置し、また、学校では職員用の全洋式トイレと児童・生徒用の各階男女1か所ずつの洋式トイレに整備している。

2・3面 用語の解説

＊1　街区…市駅周辺再整備では、枚方市駅周辺を①街区から⑤街区までの5つのエリアに定め、再整備を進めることとされている。

各街区の位置については下図のとおり。

＊2　アウトリーチ…生活上の課題を抱えながらも自ら援助にアクセスできない個人や家族に対し、家庭や学校等への訪問支援、当事者が出向きやすい場所での相談会の開催、地域におけるニーズ発見の場や関係づくりなどにより、支援につながるよう積極的に働きかける取組のこと。

＊3　ロコモ…「ロコモティブシンドローム」の略。足腰の筋力が弱まったり、膝などの障害により、「立つ」、「歩く」などの移動機能が低下している状態のこと。

＊4　フレイル…加齢とともに筋力や心身等の機能が低下して、弱ってしまった状態のこと。健康と要介護の中間に位置する状態。

＊5　ランサムウエア…感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭を要求する不正プログラムのこと。

＊6　eスポーツ…「エレクトロニック・スポーツ」の略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称のこと。

＊7　ヤングケアラー…病気や障害、高齢、精神的な問題などを抱えた家族に対し、大人が行うようなケアを日常的に担う18歳未満の子どものこと。ケア内容には、食事・入浴・排せつの介助、きょうだいの世話、料理・洗濯・掃除等の家事、病院の付添いや服薬管理などが含まれており、年齢や成長の度合いに見合わない責任を引き受けるため、学校生活等に影響が出るケースも見られる。

＊8　文化財保存活用地域計画…市町村における文化財の保存と活用に関する目標や取組の具体的な内容を記載した総合的な法定計画のこと。

＊9　ワクチン・検査パッケージ…飲食店やイベント主催者等の事業者が、入店者や入場者等の利用者のワクチン接種歴または検査結果の陰性のいずれかを確認することで、感染リスクを低減させ、緊急事態宣言や蔓延防止等の重点措置などで課される行動制限を緩和する仕組みのこと。

＊10　総合型放課後事業…留守家庭児童会室と新たに実施する放課後子ども教室を一体的に運営する取組のこと。

＊11　デマンド交通…事前予約により運行する公共交通のこと。運行ルートやダイヤ、発着地などは自由に組み合わせることができ、需要に応じた多様な形態がある。

＊12　市街化調整区域…都市計画法により定められた都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域のこと。この区域内では、開発行為や建築行為などを抑制する規制が適用される。

3月定例月議会 2月25日から開催

日程はこちら（随時更新）

詳しい日程は、2月18日の議会運営委員会で決定します。

点字議会報・声の議会報を発行しています

目の不自由な方に議会の活動を知っていただくため、「点字議会報」と「声の議会報」を発行しています。送付を希望される方は、市議会事務局までお申し出ください。

また、「声の議会報」は、市議会ホームページでもお聞きいただけます。

声の議会報はこちらから

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のためのつい立てを議場（演壇、発言席等）に設置し、マスクを外して発言しています。